



No.3575

第3893回例会
令和7年11月5日OBIHIRO ROTARY CLUB
DISTRICT 2500

会長 飛岡 抗

方針『夢をはぐくむロータリー』

2025-26年度国際ロータリーのテーマ よいことのために手を取りあおう

■会長報告



飛岡 抗 会長

皆さん、こんにちは、体調不良(脳梗塞)により地区大会と先週の例会等を休ませて頂き、皆さまにご迷惑をお掛けしたこと大変申し訳ございませんでした。そして地区大会が大盛況で終わったことを池田幹事に感謝するとともに、櫻井・金山副会長には、留守中に代理対応頂き感謝申し上げます。おかげ様で体調も回復し、復帰致しましたので、本日より頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。

今月は、「ロータリー財団月間」です。RI理事会と管理委員会は、毎年11月を「ロータリー財団月間」に指定することに同意しています。この月間中にクラブは少なくとも1回の例会プログラムで財団に関することをしなければなりません。また、世界インターアクト週間としてロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む週の月曜日から日曜日で『世界インターアクト週間』として順守するように奨励されています。

地区大会終了に伴い、佐渡ガバナーより参加に対するお礼文が届いていますので紹介します。「この程は、2025-26年度地区大会に際しましては、御多忙中のところご臨席を賜りまして誠にありがとうございました。おかげ様で約1,200名の皆さまにご参加頂き、3日間にわたるプログラムを無事に終了することができました。これもひとえに地区内外のロータリアンの厚い支援ご友情の賜物と心よりお礼申し上げます」とのことです。

さて、本日の例会プログラムは、ロータリー財団委員会が『松田英郎EPNC(ポリオ根絶コーディネーター)による、ポリオ根絶に関する講話を予定しています。松田パストガバナー、御多忙中の所どうぞ宜しくお願い致します。当クラブも今年度、7月5日から10月24日のポリオデーまで、帯広空港においてポリオ根絶募金箱を設置したことで広く公共イメージアップの効果と、一般市民の皆さまにポリオ根絶について一緒に考えて頂くきっかけになったと思います。これまでの活動として、家族野遊会でポリオ募金に59,032円、空港でのポリオ募金箱で82,413円、トータルとして141,445円の募金額となりました。そして、現在ポリオ根絶募金箱は、林佑太会員が運営する「とかち村」のレストランホールに置いて頂き、来年の6月まで継続した募金活動と市民の皆さまへポリオ根絶に対する認知度向上を推進させて頂いております。

皆さまへの今月のお願いは、財団への寄付について、財団委員会梅安副委員長が今年も皆さまへ寄付の金額に合わせて付与できるポイントも教えて頂けると思いますので、財団への寄付のご協力をお願いし、本日の会長報告とさせていただきます。

■ゲスト紹介

RI第1地域ポリオ根絶コーディネーター

まつだ ひでお
松田 英郎 様

■会務報告

池田 健太 幹事

①帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月18日(火)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

※尚、11月17日(月)の繰下げ例会と致します。

②帯広南RC、11月24日(月)は祝日振替のため休会と致します。

帯広東RC、11月25日(火)は休会と致します。

帯広北RC、11月28日(金)は休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月27日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

■委員会報告

【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

<飛岡 抗 会長>

地区大会に36名登録、沢山の参加ありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。皆さんへ感謝申し上げます。

<林 佑太 会員>

エアドゥの11月号に、ふく井ホテルを掲載頂きました。温泉ライターの方から「全国トップクラスの泉質」と評価頂きました。エアドゥをご利用の際は是非ご覧下さい。

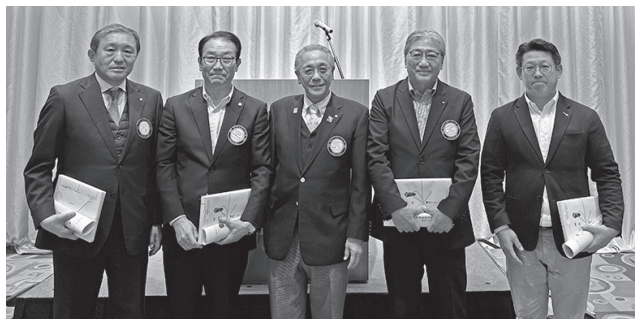
<小田切義憲 会員>

本日、担当例会です。よろしくお願い致します。

<誕生記念日祝(11月)>

竹川 博之 会員 木村 裕氏 会員

外崎 裕康 会員 熊田 智通 会員



<誕生記念日祝(10月)>

小田切義憲 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(11月)>

長澤 秀行 会員 小白 智志 会員

工藤 大輔 会員 大江 平 会員

伊藤 秀敏 会員 工藤 稔 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(7月)>

小田切義憲 会員

<結婚記念日祝(11月)>

國枝 千秋 会員 鍋田 大樹 会員

工藤 稔 会員 板谷 圭佑 会員

荒井 純一 会員

<結婚記念日祝(7月)>

小田切義憲 会員

<理事・役員・委員長就任>

ロータリー財団委員会 小田切義憲 委員長

■プログラム (ロータリー財団委員会)

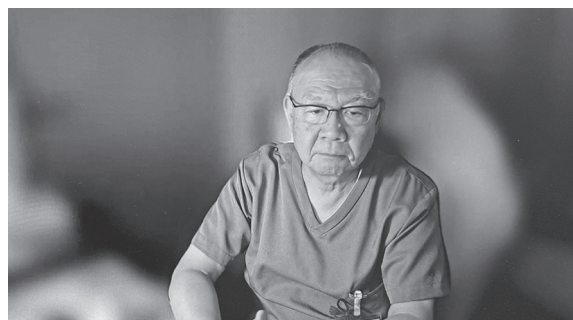
「ポリオ根絶に関する講話」

RI第1地域ポリオ根絶コーディネーター 松田 英郎 様(富良野RC)

ポリオは急性灰白髄炎と言ってポリオウイルス感染によって急性麻痺を起こす病気です。感染症法では2類に分類されており、流行は18世紀に認められ、1950年代まではしばしば世界各地で流行しました。感染してしまったら治療方法はなく唯一ワクチンが予防手段です。

1955年に世界で多くの患者が認められましたが、ポリオワクチンを接種することで99.9%の発症を予防してきました。根絶まであと少しの所まで来ています。野生型ポリオ感染は、パキスタンとアフガニスタンの2ヶ国となっていますが、経口ワクチン由来のポリオ患者さんが世界中で発生しています。感染者のほとんどが症状がないので、世界中にポリオウイルスをばらまいている状況です。従ってポリオ発症がない我が国でもポリオワクチンを接種する必要があり、日本でも過去の病気と考えてはいけません。

ポリオウイルスは人にしか感染しませんので、根絶できる病気です。発展途上国にはポリオワクチンを接種するために多額の費用が必要です。ロータリークラブは40年前からポリオ根絶のために関わり多額の寄付をお願いしていました。ポリオ根絶まであと少しです。ここで立ち止まることはできないのです。佐渡年度では毎年1人あたり50ドルの寄付をお願いしています。また、100ドル以上の寄付を誓約された方は、ポリオ・プラス・ソサエティとして地区からの表彰を受けます。皆様の募金へのご理解と、ご協力をお願いいたします。

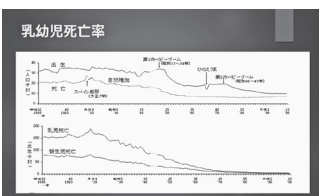


ポリオ (POLIO) 根絶に向けて

よいことのために手を取りあおう

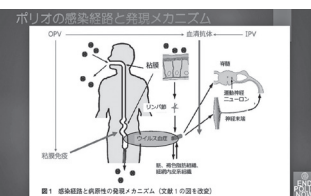
2025.11.5 帯広ロータリークラブ卓話
R1 EPNC 松田英郎 (富良野RC)

ロータリーの最優先項目がポリオの根絶です



▶ポリオウイルスの自然宿主はヒトのみです。ポリオ流行の記録は18世紀頃からみられ、1950年代まではしばしば世界各地で流行した。しかしその後、不活化ワクチン (inactivated poliovirus vaccine: IPV) に次いで生ポリオワクチン (oral poliovirus vaccine: OPV) が開発され、定期接種されることにより多くの国でポリオ患者は激減しました。

▶日本では、2012年9月から不活化ワクチンのみ接種しています



▶患者の90~95%は不顕性に終わり、約5% (4~8%) では、発熱、頭痛、咽頭痛、悪心、嘔吐などの感冒様症状に終結し (不全全)、1~2%では上記の症状に引き続き無菌性髄膜炎を起こします (非麻痺型)。

定性的な感染は、ほとんどの場合、感染後6~20日の潜伏期をおき、前駆症状が1~10日続いた後、四肢の非対称性の弛緩性麻痺 (AFP) が出現します。

▶北海道で大発症

▶1960年に大々強で5,000人以上の感染を出し、死者も100人以上となりました。

▶かつては回復しても手足に麻痺の後遺症が残りました。

▶1961年ソ連・カナダからポリオのワクチンが輸入され、共同接種が始まりました。1980年代に現在地ポリオウイルス患者発生はなくなり、2000年には日本のポリオ根絶となりました。

▶大流行した大々強は現在シュエーハロ湖の湖底に沈み、ポリオと共に日本の歴史から消えました。

ロータリーはポリオワクチン接種に関わって約40年になります。

今の問題は、「何年もあと少しと言ってなかなか根絶の宣言がない」ことによる支援疲れと、「本当に根絶できるか」との疑問を持たれてしまっており、支援が縮小してしまうことです。

残念な事に2025年も、パキスタンとアフガニスタンに野生型ウイルスが約40名発症してしまいました。

更に、問題として伝播型ワクチン接種由来のウイルス感染が世界中に広がっています。従いまして先進国でもワクチン接種が欠かせない事になっています。

野生型、伝播型ワクチン由来型に対しても研究を重ねそれに対するワクチンを開発し、対応しています。

さて、天然痘を根絶できたのは皆様も存じてでしょう。天然痘は感染力も強く致死率も高い感染症でした。人類は200年かけて根絶に成功しています。

現代の医療はその時に比べるととても大きく進歩しています。

ですから、ポリオももう少しで根絶できるのです。

ポリオが根絶されれば、子供達に不安のない将来を約束できますし、ポリオフリー後ワクチンを打たない世界になれば、医療経済的に莫大な恩恵を受ける事ができます。

そしてポリオプラスの感染症 (はしか、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核) に対しても重点を置いた予防に資金を費やすことができます。

なぜ、今でもポリオのワクチンを打っているのか？

▶グローバル社会になって人が全世界を飛び回ることになっています。

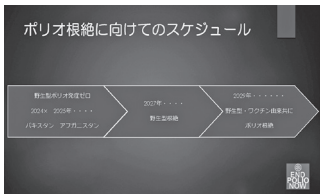
▶ポリオウイルスが侵入する可能性があります。

▶別に、2022年ニューヨークの下水道からポリオウイルスが検出と報告。

▶10年ぶりの感染例も報告されました。

▶2024年7月ガザ地区の廃水から検出。併殺してポリオワクチンを注ぎました。

ポリオ発生国 (アフガニスタン、マラウイ、モザンビーク、パキスタン、マダガスカル、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国、アルジェリア、ベナン、ボツワナ、カメルーン、カボ、中央アフリカ、チャド、コートジボワール、シエラレオネ、エリトリア、ガナ、インドネシア、イスラエル、マリ、ニジェール、ナイジェリア、ソマリア、スーダン、トーゴ、イエメン、ザンビア、ブルキナファソ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、モリタニア、セネガル、シエラレオネ、タジキスタン、ウガンダ、ウクライナ) に渡航される方は、現地の移動様式や感染に際して追加の予防接種を検討してください。2023.5.16 WHO



私たちにできること

▶マイレロータリーに電話 (お金の寄付) 寄付の準備をする
毎年、30ドルを目標

▶ポリオデー・世界予防接種週間に参加日寄付
地区でクラブで集んで
ポリオに寄付できる

▶職員に現金を届くこと
END POLIO NOWのピンバッジを付けてアピールする

▶表の通りです (2025年発給目標)

▶地区のDOFから寄付する
▶年間100ドル以上の寄付を目標にする (2025年目標は200ドル)



ポリオ根絶まで あと もう少し

皆様の 善意をお待ちしています

■出席報告

会員総数:91名 (内 免除会員2名)
出席者数:51名 (内 免除会員1名 内zoom参加者3名)
本日の出席率:56.7%

■次週プログラム予定

11月12日 (水)「寄付の種類に関する講話」(ロータリー財団委員会)
11月19日 (水)「イニシエーションスピーチ」新会員卓話
(プログラム委員会)
中田 真光 会員・小川 洋輝 会員
「米山記念奨学生卓話」 島達木 様
11月26日 (水)「ハラスメントに対する危機管理」
(中長期ビジョン委員会)
木野村英明 副委員長



例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 三谷 郁央 副委員長 / 佐藤 真康・大友 一弘

委員 / 荒井 純一・石原 宏治・林 浩史

●ホームページアドレス <https://www.obihiro-rc.jp> ●facebook <https://www.facebook.com/obihiro.RC/>